



ガンブラーによる Web サイトの改ざん被害が増加

独立行政法人情報処理推進機構では、ウェブサイト管理者へ向け「ウェブサイト改ざんに関する注意喚起」ならびに、一般利用者へ向け「改ざんされたウェブサイトからのウイルス感染に関する注意喚起」を行っています。

新聞やテレビでも最近取り上げられたので、ご存知の方も多いと思いますが、この「ガンブラー」なるもの、企業や個人が運営しているウェブページに不正なスクリプトを埋め込み、このページを閲覧した一般利用者を、ウイルスが仕掛けられた悪意あるウェブサイト自動的に誘導し、利用者のパソコンに脆弱性があると個人情報の流出などにつながる恐れのあるウイルスに感染させる曲者です。

改ざんされたウェブサイトの管理者は、被害者にとどまらず、閲覧した利用者のパソコンにウイルスを感染させる加害者となるわけで、今回上述のように、ウェブサイトの管理者と一般利用者の双方に向けた注意喚起がなされたわけです。

CTF 松阪の会員の中にもウェブサイトを運営されている方がたくさんおられます。以下に、それぞれの立場での対策の要点を記しますので、早急に安全性の確認を行ってください。

☆ ウェブサイト管理者さんは

- ◇ 自分が管理するウェブサイトが改ざんされていないか、全ページのソースを確認する。
- ◇ 万一改ざんが発見されたら、即刻公開を停止し、ページを修正するとともに、関係機関に報告する。

☆ 一般利用者さんは

- ◇ アップデートの励行により脆弱性を解消する。(必ず更新すべきものは、Windows、AdobeReader、AdobeFlashPlayer、JavaRuntimeEnvironment、QuickTime など)
無料のバージョンチェッカーは、<http://jvndb.jvn.jp/apis/myjvn/vccheckhelp.html>にある。
- ◇ ウィルスに感染していないか確認する。(無料のオンラインスキャンサービスもある)

本稿の詳細については、独立行政法人情報処理推進機構のウェブサイト

<http://ipa.go.jp/security/topics/20091224.html> を参照してください。



温暖化防止に挑戦

私がか子供の時には、冬になれば非常に寒い日が続き、毎年氷やツララがよく見られたものですが、最近では冬でも0度以下になることも少なくなりました。やはり寒い時には寒く暑い時には暑くあってほしいと私は思っています。何万年というスパンで考えると、非常に急激な温度の上昇がこの約150年間で起こっており、海面上昇等その弊害がいろいろなところで生じております。その原因として言われているのが、産業革命以降の工業化によるガスの排出による温暖化です。京都議定書では2012年までに1990年比で温暖化ガスを-6%にしていくという日本の目標がありますが、とても達成できないのが現状です。

ところで、あなたの家庭がどのくらいの温暖化ガスを排出しているかご存知でしょうか？今、環境家計簿なるソフトがネット上で沢山（例 <http://www.chuden.co.jp/kids/ecoland/kakeibo/kakeibo.html>）掲載されており、排出ガスの量を計算することができます。まずは、あなたの家庭でどのくらいの温暖化ガスを出しているのかを知ることから始まります。その量を確認し、温暖化ガスの量を少しでも減らすことに挑戦してみたいはかがでしょうか？

(Y・I)

今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでもください。



簡単なゲームを作ろう

それではメモ帳で入れ物 HTML ファイル (iremono01.html) を開き、このファイルにリスト 2 の内容を書き込んでください。

リスト 1 と比べると行数は 3 倍以上に増えていますが、あわてる必要はありません。冷静に見てみるとリスト 1 の原型がほとんどそのまま残っていることがわかります。

まずページのタイトルを「プログラムの入れ物」から「数当てゲーム」に書き換えます。次に「// この行を削除してここにプログラムを書く」の行を削除して JavaScript のプログラムを書き込んでいきます。少し長いですが間違えないように確認しながら書き込んでください。

最後に <body> ~</body> 部分にプログラムを追加します。

書き換えが終わったら

kazuategame.html

というファイル名で保存します。このファイルを開くとゲーム開始です。

つづく



```

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN"
"http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html LANG="ja-JP">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html;
charset=shift_jis">
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript">
<title>数当てゲーム</title>
<script type="text/javascript"><!--
var wishedNumber, tryCount;

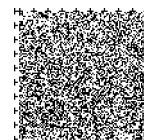
function startGame() {
wishedNumber = Math.floor(Math.random()*10);
tryCount = 1;
setTryCount();
}

function tryNumber() {
var enteredNumber = document.getElementById('number').value;
if (isNaN(enteredNumber)) {
alert("数値を入力してください。");
return;
}
if (wishedNumber == enteredNumber) {
alert("大当たり!" + tryCount + "回目の勝利です!");
}
else if (wishedNumber > enteredNumber) {
alert("もっと大きな数字です!");
tryCount++;
}
else {
alert("もっと小さい数字です!");
tryCount++;
}
setTryCount();
}

function setTryCount() {
document.getElementById('tryCount').innerHTML
= tryCount + "回目の挑戦!";
}
// -->
</script>
</head>
<body onload="startGame();">
<h1>数当てゲーム</h1>
<P>0 から 9 までの数字を隠しています。 当ててください。 </P>
<P id="tryCount"></P>
<P>予想した数字を入力 :
<input id="number" type="text">
<input type="button" onClick="tryNumber();"
value="挑戦!"></input></P>
<P><input type="button" onClick="startGame();"
value="新しい番号を用意する"></input></P>
</body>
</html>

```

リスト 2 数当てゲーム (kazuategame.html)



第30回理事会開催

1月9日(土) 松阪市障害者福祉センター(松阪市殿町)において、理事10名が出席し、第30回理事会を開催しました。内容は次のとおりです。



1. 最近の活動状況の報告
2. 今後の活動計画その他の審議(以下の事項を決定しました)
☆「難病患者のコミュニケーション支援ワークショップ」に参加

活動報告

【1月】

理事会 (9日)
障害者対象個人向けパソコン講座
(12日、19日、26日)
訪問ITサポート
(20日、27日)



活動予定

【2月】

障害者対象個人向けパソコン講座
2日、9日、16日、23日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記

快樂亭

松阪で親しまれている明治3年創業の日本料理のお店です。
二階はお座敷で懐石料理がいただけますが、一階の食堂ではお手頃価格でお弁当や定食、鰻などがいただけます。
今月号のおすすめは「ひょうたん弁当」です。ひょうたんの形の器に季節の味が盛り込まれているので、一段ずつ開けていく楽しみがあります。食後のデザートも付いてお値打ちなお弁当です。

右の写真は、ひょうたん弁当 1,050円

所在地：松阪市中町1849-2

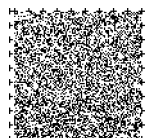
電話：0598-21-0222

営業時間：11:30~20:00(休憩：14:00~17:00)

定休日：毎週水曜日



ひょうたんを開けて召し上がれ



今月は、ホームページ更新等 CTF 松阪が受託した業務を、ワーク会員として手際よく処理してくださっている bear 様からご投稿いただきました。

81

Thanks!



bear

CTF の方でお世話になり始めて、もう随分と長くなります。

物覚えが悪く、なかなかスキルアップできておりません。

一度は辞めようと思ったこともあったのですが、送迎して頂くことができ、今日まで継続しております。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

毎日、同じことを繰り返しながら生活していますが、平凡に生活できることに幸福を感じるとともに、全く同じ日付の日は2度とありませんから、1日1日、1分1分、1秒1秒を大切に過ごしたいと考えます。同じことの繰り返しの中にも、その日初めて気付くこと、学ぶこともあるのではないのでしょうか。換言すれば、それもある意味「積み重ね」なのかもしれません。

相手に1度言ってしまったことは、消しゴムのように消せません。「どうして、もっと相手の気持ちを考えて言えないのだろう…」と後悔することが度々で、歯がゆくなります。でも、難しいですが「自分が正しい」と天狗になるのではなく、「良くないこと」と気付いただけでも良かったと、また腹立たしい、ムッとするようなことがあっても、「腹が立つ」と気付いただけでも良かったと思える、寛容な精神を持てるように心がけていきたいと思います。



編集後記

1年中で1番寒い季節です。

近ごろ参加者が少し減っております。寒さに負けず、CTFのパソコン講座に一人でも多くの方が参加されることを願っております。



CTF 通信第 83 号

2010年(平成22年)2月発行
発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

